

## 会社情報 Corporate Data

### 会社概要 (2024年3月31日現在)

名称	加藤産業株式会社
設立	1947年(昭和22年)8月22日
本社	兵庫県西宮市松原町9番20号
事業内容	総合食品卸売業、カンピー商品販売
資本金	59億3,405万円
従業員数	1,062名

### 取締役・監査役及び執行役員 (2024年4月1日現在)

代表取締役	加藤 和 弥	社外取締役	八十川 祐 輔
取締役	中村 考 直	社外取締役	海 保 理 子
取締役	日比 啓 介	社外取締役	青 木 英 彦
取締役	次家 成 典		
取締役	大西 高 司		

常勤監査役	中島 嘉 幸	社外監査役	山 村 幸 治
常勤監査役	池 村 昌 人	社外監査役	森 内 茂 之

社長執行役員	加藤 和 弥	執行役員	小 野 聡
専務執行役員	中村 考 直	執行役員	明 石 誠
常務執行役員	太田 尚 史	執行役員	和 田 陽 一
常務執行役員	菅 公 博	執行役員	金 子 潤 一
常務執行役員	日比 啓 介	執行役員	井 原 太 郎
常務執行役員	打田 雅 俊	執行役員	中 谷 勤
上席執行役員	次家 成 典	執行役員	高 瀬 健 治
上席執行役員	大西 高 司	執行役員	合 田 恭 典
上席執行役員	松 村 努	執行役員	田 中 英 治
		執行役員	中 川 吉 明
		執行役員	矢 部 章 一

### 主要グループ会社 (2024年3月31日現在)

事業内容	会社名
国内	低 温 ○ケイ低温フーズ株式会社
	酒 類 ○三陽物産株式会社
	○ヤタニ酒販株式会社
	菓 子 ○加藤菓子ホールディングス株式会社
	○カトー菓子株式会社
○株式会社植嶋	
卸売業	マレーシア ○Kato Sangyo Malaysia Sdn. Bhd.
	○Lein Hing Holdings Sdn. Bhd.
	○Merison (M) Sdn. Bhd.
	シンガポール ○Teo Soon Seng Pte. Ltd.
	○Naspac Marketing Pte. Ltd.
海外	○Nam Khai Phu Service Trading Production Co., Ltd.
	ベトナム ○Song Ma Retail Co., Ltd.
	○Toan Gia Hiep Phuoc Trading Co., Ltd.
	○Kato Sangyo Vietnam Co., Ltd.
	中 国 ○上海加産貿易有限公司
△深圳華新創展商貿有限公司	
物 流	○マンナ運輸株式会社
	○カトーロジスティクス株式会社
メ ー カ ー	○株式会社グリーンウッドファクトリー
	○和歌山産業株式会社
外 食	○株式会社アドバンス・キッチン

○=連結子会社、●=持分法適用非連結子会社、△=持分法適用関連会社

### 「CSR報告書」発行

毎年1回、当社グループのCSR(企業の社会的責任)への取り組み状況をまとめた「CSR報告書」を発行しております。本年度は、サステナビリティに関する取り組みの新たなスローガンである「毎日の食を豊かに、明日の食を守り続ける。」をタイトルに設定し、ご報告を行っています。

詳細データ等は、当社ウェブサイトでご覧いただけます。  
<https://www.katosangyo.co.jp/csr/report/>



## 株式情報 (2024年3月31日現在) Stock Information

### 株式の状況

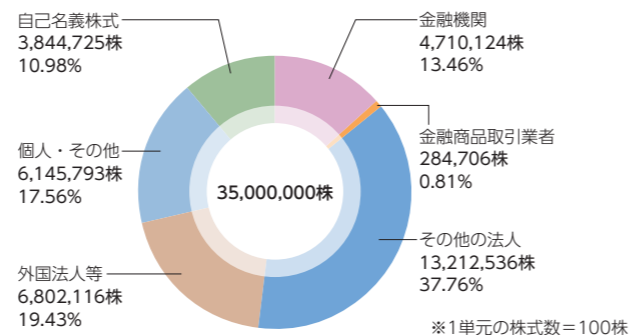
発行可能株式総数	72,000,000株
発行済株式の総数	35,000,000株
株 主 数	7,906名(内、単元株所有者数: 7,461名)

### 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,133	10.05
三井物産株式会社	1,576	5.06
株式会社プラスダブル	1,280	4.10
三菱商事株式会社	893	2.86
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	856	2.75
株式会社加藤興産	850	2.72
キューピー株式会社	841	2.70
ハウス食品グループ本社株式会社	838	2.69
カゴメ株式会社	731	2.34
JP MORGAN CHASE BANK 385632	715	2.29

※当社は自己株式3,844,725株を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。  
※持株比率は自己株式(3,844,725株)を控除して計算しております。

### 所有者別分布状況



### 株主メモ

事業年度 10月1日～翌年9月30日  
 期末配当金受領株主確定日 9月30日  
 中間配当金受領株主確定日 3月31日  
 定時株主総会 毎年12月

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 特別口座管理機関

同 連 絡 先 (お問い合わせ先)  
 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 大阪証券代行部

電話(通話料無料)0120-094-777  
 電子公告の方法により行う

公告方法 (ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。)  
 ※公告掲載URL  
<https://www.katosangyo.co.jp/irinfo/>

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



<https://www.katosangyo.co.jp/>



# 第78期 第2四半期(中間)報告書

2023年10月1日から2024年3月31日まで



加藤産業株式会社

証券コード: 9869

## 株主の皆さまへ

To Our Shareholders

株主の皆さまにおかれましては、平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、第78期第2四半期(中間)決算につき、その概要をご報告申し上げます。

食品流通業界におきましては、消費者の食生活や購買行動の多様化が進むとともに、小売業の業種・業態を超えた競争が激しくなっております。さらに、原材料価格も含めた仕入価格やエネルギー価格等の上昇に一巡感が出てきたものの、今春からの高水準な賃上げや物流の2024年問題、円安のさらなる進行等により、コストアップの流れが再燃することが想定されます。また、消費者の所得環境は改善されることが期待される一方、商品やサービスの値上げに対する負担感がさらに増すことで、節約志向の進行による消費マインドの冷え込みが強まり、日常生活関連消費については生活防衛意識が一層強くなると予想されます。

このような状況に対して当社グループは、グループミッションである「豊かな食生活を提供して人々の幸せを実現すること」を目指して、デジタル技術の活用も含めた取引先との取組み強化、業務の生産性向上及び人材の育成・活性化に取り組み、付加価値を高める営業活動・業務活動を進めてまいりました。そして、2023年10月には、当社のジャム類等の製造事業を株式会社グリーンウッドファクトリー(兵庫興農株式会社より商号変更)へ承継し、グループ内で卸売業と製造事業に特化する体制へ変更することにより、製造機能の充実と事業の成長を目指してまいります。また、菓子卸売事業の中間持株会社である加藤菓子ホールディングス株式会社を設立し、管理業務の集約化・一元化等を通してさらなる生産性の向上と営業力の強化を進め、今後の菓子卸売事業拡大の基盤を構築してまいります。

海外事業におきましては、今後の当社グループの成長戦略の一つとして位置づけ、マレーシア・ベトナム・シンガポール・中国国内での食品卸売事業の展開を図っており、日本を含めたアジア地域における食品流通事業の強化を進めてまいりました。そして、2023年10月にはシンガポールの食品卸売会社であるTeo Soon Seng Pte. Ltd.の株式を取得して連結子会社とし、同国での確固たる卸売業グループとなることを目指し、今後も東南アジアを中心に海外事業全体のさらなる拡大を図ってまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益は、既存得意先を中心とした取引の増大に加えて、外食関連需要の回復による取引の増加もあり、5,838億46百万円、営業利益は95億41百万円、経常利益は104億42百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は76億72百万円となりました。

なお、中間配当金は、1株につき55円とさせていただきます。また、2024年9月期末につきましては、1株につき58円を予定しており、年間配当予想は113円となります。

通期の見通しにつきましては、消費者の所得環境は改善されることが期待される一方、節約志向の進行による消費マインドの冷え込みの強まりや、物流の2024年問題をはじめとするコストアップ要素の影響等、依然として不透明感がございます。引き続き、第78期計画の達成に向けてまい進いたします。

株主の皆さまにおかれましては、時節柄くれぐれもご自愛いただきますとともに、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2024年6月

代表取締役社長執行役員 加藤 和 弥

営業収益	5,838億46百万円	前年同四半期比 7.2%増加
営業利益	95億41百万円	前年同四半期比 7.5%増加
経常利益	104億42百万円	前年同四半期比 6.5%増加
親会社株主に帰属する四半期純利益	76億72百万円	前年同四半期比 19.4%増加



## 主要な事業の概況

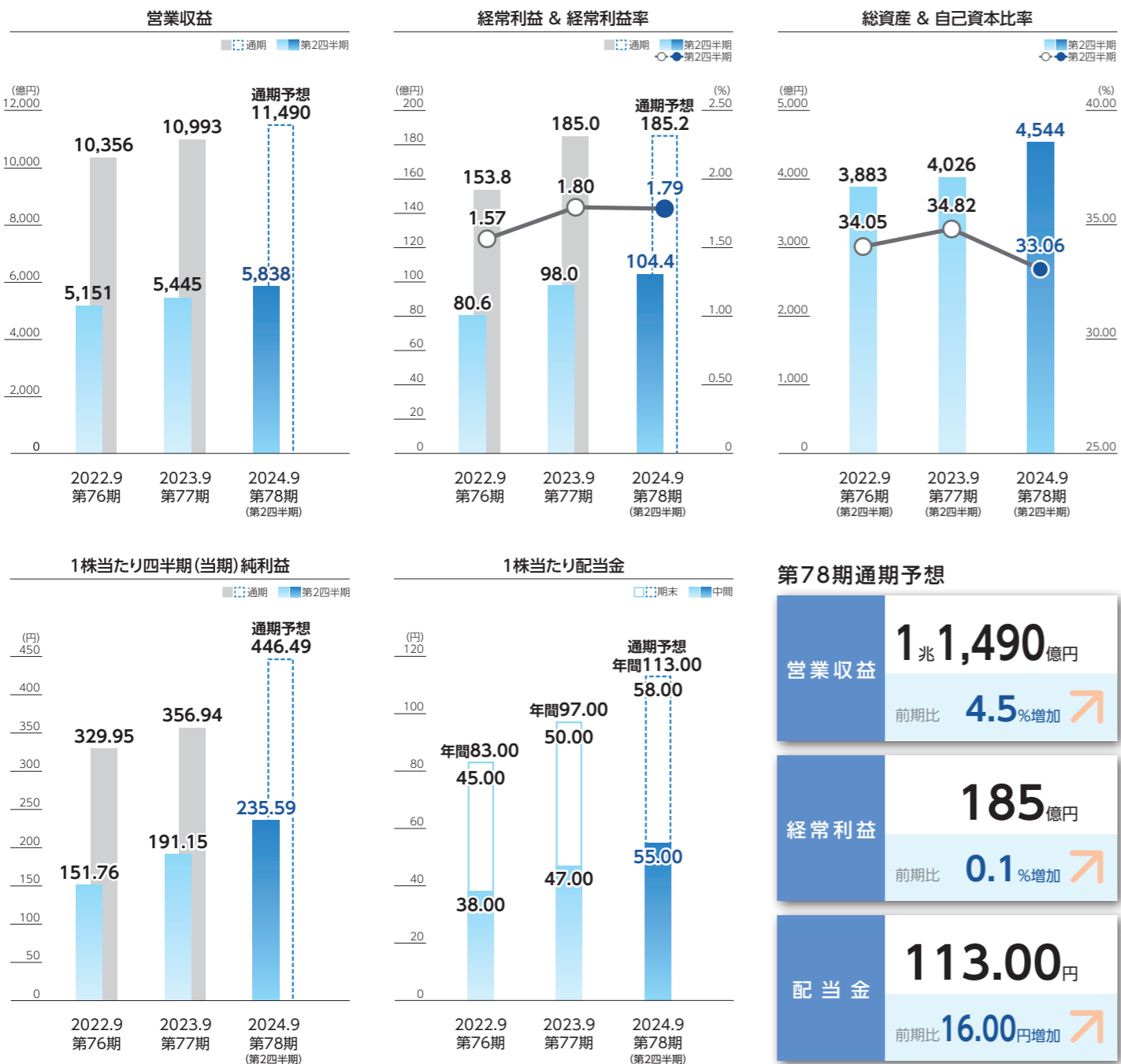
Segment Review

	常温流通事業	低温流通事業	酒類流通事業	海外事業
営業収益	3,593億47百万円 (前年同四半期比6.4%増加)	566億38百万円 (前年同四半期比2.0%増加)	1,237億87百万円 (前年同四半期比9.8%増加)	421億20百万円 (前年同四半期比14.8%増加)
営業利益	71億82百万円 (前年同四半期比6.1%増加)	7億41百万円 (前年同四半期比37.0%増加)	12億17百万円 (前年同四半期比20.5%増加)	△22百万円 (前年同四半期は営業利益2億5百万円)

※営業収益及び営業利益には、各事業間の内部取引を含めております。  
※営業利益は、のれん償却費等を含んでおります。

## 連結財務・業績ハイライト

Consolidated Financial Highlights



※2022年度より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用いたしました。

# News Close-up

ニュース

クローズアップ

● 現在当社が注力している取組みについて、担当者よりご紹介いたします。●

### カンピー ファンイベント開催

2023年3月に自社ブランド「カンピー」から最上級ブランド「カンピー ザ・プレミアム」を発売し、9月にはカンピーちゃん誕生65年を記念してリニューアルしました。また、カンピーのブランドコンセプト「あなたの身近なパートナー」の通り、ブランドにより親しみを感じていただき、ファンの熱量を上げるため、カンピーファンイベントを定期的に開催しています。

私はSNS・イベントを中心としたファンづくりの業務に携わっています。ファンイベントはご好評いただき、回を重ねるごとに応募数が増加しています。当イベントでは、カンピーブランドの紹介だけでなく、普段関われないお客様との会話を大切にしています。今後は当社とカンピーファンの皆さまとの交流機会はもちろん、ファンの声を活かした商品開発や、ファン同士のつながりを深められるような取組みを検討してまいります。

▼カンピーファンイベントの様子



▼カンピー公式 Instagram



商品企画部  
木下 綾奈

### 物流現場の省人・省力化への取組み

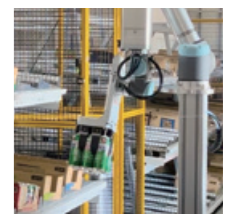
人手不足の解消や多品種・小ロット化への対応として、2023年10月より「ケース積み付けロボット」「定数ピッキングロボット」の2種類の設備を、一部の拠点に導入しました。重量物作業や定数作業の省人・省力化の効果が少しずつ見え始めています。今後はノウハウを蓄積しながら、運営の中心を「人」から「機械」へ段階的にシフトしていく予定です。

私は物流センターの運用設計を行っており、得意先様との対話を重ね、課題やご要望をお伺いしながら設計を練り上げています。自分の構想通りに商品を動かすことができたときには、この仕事の面白味を感じます。今後も得意先様からのご要望にお応えしながら、生活者の皆さまの食生活を安定的に支えられるように、運用改善を続けてまいります。

▼ケース積み付けロボット



▼定数ピッキングロボット



ロジスティクス管理部  
大嶋 佑介

### 加藤産業グループのサステナビリティ

当社が創立100周年を迎える2047年に向け、サステナビリティ委員会が中心となり、「脱炭素」、「フードロス&ウェスト」、「資源循環」、「多様な人財の活躍」の4つのマテリアリティの解決に取り組んでいます。

私はサステナビリティ委員会の事務局として、マテリアリティごとの目標達成に向けたあらゆる議論・検討の準備や資料作成を行っています。サステナビリティ活動に対して、世の中の関心の高まりを日々実感しています。当社としても、委員会メンバーと深い議論を重ねながら、できることから一つひとつ取組みを進めています。まずは2030年目標の達成に向けて会社が一丸となれるよう、社内への情報発信の方法を工夫し、社員一人ひとりの意識向上を目指してまいります。

▼4つのマテリアリティ



▼CSR推進部公式 Instagram



CSR推進部  
阪上 秩早